

メールにしかか NO.10

「一人ひとりを大切に、違いは宝物」元気で笑顔あふれる学校

豊中市立西丘小学校「学校だより」 令和3年（2021年）9月17日発行

「メールにしかか」のカラー版は、ホームページをご覧ください。http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nisioka/

オンライン参観～参加ありがとうございました～

緊急事態宣言が13日から30日まで延期されたことにより、楽しみされていた方もいたと思いますが、土日のゆうゆう教室、放課後の運動場での居場所づくり事業（あそび場開放）や学校施設開放もすべて休止となっています。

今週2度目になるオンライン参観を実施いたしました。クラスによっては音声が届いて聞き取りにくかった、子どもの声が聞こえなかった、雑音が入っていた、子どもの顔がよく見えなかった等のお声をいただいています。音声については保護者の皆



さまにはミューン設定をお願いしています。3台のiPadの音声を全てオンにするとハウリングを起こすので、一台だけ音を拾うように設定しています。集音マイクのようなものがないので聞き取りにくかったと思います。音声については、今後教育委員会にサポートをしてもらいながら、できる限りの改善をしていきたいと思います。多くのご参加ありがとうございました。

さて、来週から運動会の練習が始まります。とはいえ、今の感染状況や緊急事態宣言下において、体育館や多目的室で学年全員が集まることは密を避けるために難しく、練習も各クラスで別々に行い、運動場で2～3回学年で合わせる程度しかできません。安全を第一に、1学期から体育の時間に練習してきたことを見て頂こうと思います。



緊急事態宣言が延長されない限り（教育委員会からの中止や延期の指示がない場合）、10月9日（土）



昨年同様低・中・高学年の入れ替え制にして実施する予定です。競技も2種目（走競技、団体演技と団体競技を合わせたもの）とし、12時過ぎに終わる予定です。終了後は教室でお弁当を食べてから、5時間目に運動会の振り返りを行って下校します。

保護者の入場は1家庭2名までとさせていただきます。屋外とはいえ、2学年保護者の方だけで480名にもなります。安全、安心して運動会が行えるように、PTAの方にお力をお借りしながら開催いたします。保護者の皆さまには、お願いやご不便をおかけすることが多々あると思いますが、どうぞご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

（運動会についてのお知らせのプリントを火曜日に配布していますので、必ずご確認ください。）

あいさつで
あいてより
いつも
さきに やさしいきもちを
つたえよう



にしおかしょうがっこうの子
にこにこ えがおが あふれる 子
しっかり まなび かんがえる 子
おもいやりが あり やさしい 子
からだと ころを きたえる 子

インターネットを使うときに気をつけること、考えること～情報モラル授業から～

6年生を対象にして『楽しいコミュニケーションを考えよう』ということで、ZOOMで東京と各教室のテレビをつなぎ、LINEみらい財団の方にオンライン講演を行っていただきました。日常の会話からインターネット上で発生するコミュニケーショントラブルを想定した事例を用いながら、円滑なコミュニケーションに必要な要素やインターネットの特徴、トラブルの際の注意点について学びました。「こんなはずじゃなかったのに。」「まさかこうなるとは。」「今後のリスクを予想する力をつける教材でした。」

子どもたちは、講師の先生とのやり取りの中で、いろいろ考えさせられる場面があり、「人それぞれ感じ方違うよね。」「私はこう思うけどみんな同じじゃないんだ。それを理解しているとトラブルを避けられるかも?」「相手の事考えてコミュニケーションを取ってほしいと思う。」と前向きな感想がたくさん聞かれました。本来ならグループでカードを使ってワークショップを行う予定でしたが、グループで向かい合って話をするのが難しい時期でもありましたので、近くの人と少しだけの交流でしたがとても盛り上がりしました。



通知票（のびゆく子ども）の配付について



前期の通知票を24日（金）に渡します。昨年からの通知票の評価の観点が大きく変わっています。「知識及び技能」は個別の事実に基づく知識だけでなく、社会の中で生きて働く知識も含まれ、これをどのように活用するか、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」、学んだことを社会や人生にいかそうとする「学びに向かう力」からなります。各担任からの所見には、前期頑張っていたことや後期頑張っていたことを記述しています。持ち帰りましたら、お子様といっしょにご覧になり、励ましの言葉をお願いします。（お渡しする通知票は渡しきりとなり、学校へ返却の必要はありません。）分からないこと等ありましたら、担任にお尋ねください。

全国学力・学習状況調査の結果概要①

5月27日に6年生を対象に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」における本校の結果分析と課題及び今後の取り組みについて以下のとおりお知らせします。この調査結果は学力や学習状況の一部であり、児童の学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。それを踏まえた上で、学校と家庭、地域が学力や学習状況に関する課題を共有し、更に連携を深めていくことを目的として、お知らせいたします。

結果の概要（１）教科に関する調査より

※国語・算数とも全国平均を大きく上回る正答率でした。

無回答率が低く、あきらめずに最後まで考える努力をして取り組んでいます。

国 語

○「思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う」や「漢字を文の中で正しく使う」「文中の主語と述語との関係や修飾と被修飾との関係を捉える」設問の正答率が高いです。

○「目的に応じて話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える」「資料を用いた目的を理解する」「目的や意図に応じ、資料と使って話す」話すこと・聞くことはよくできています。

▲「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つける。」「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。」必要な条件を満たし、決められた字数内に要約する力に課題が見られます。

▲「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える。」「目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」書く力に課題がみられます。

【まとめ】

- ・国語に限らず全ての教科、総合の時間において、自ら課題を設定し、調べたことをパワーポイントなどにまとめて、発表する力（プレゼンテーションする力）は少しずつ身につけてきている。
- ・目的や意図に応じて、複数の資料の中から適切なものを選択し、根拠を挙げながら自分の考えを一定の文字数内にまとめて書く力を身につけられるような問題や課題を学習に取り入れていく。
- ・低学年から国語の説明文で、文章全体の構成を意識しながら読むことや、内容を要約して全体をつかんでいくような学習指導を繰り返し行っていく必要がある。
- ・読んだことをもとにして話し合ったり、学習したことを活用し、主体的に題材を選び文章を書いたりするなどの言語活動を深めていく指導を積極的に行っていく。ここで培った論理的な思考力、表現力は国語科にとどまらず、他教科や総合的な学習の時間、日常生活の中でも活用していくことが大切である。



算 数

○すべての領域においてよくできています。

○「数と計算や図形領域についての知識・技能」を問う設問等の正答率が高いです。

▲「図形の計量について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、筋道を立てて説明できる」「小数を用いた倍の意味について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して理解し、考えを説明する」など、面積の公式は理解していますが、それを応用した複合図形の面積をどのように求めればよいのか記述する力、小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数にあたる理由を記述したりする力に課題が見られます。

【まとめ】

- ・基礎的な四則計算については定着している。今後も全ての学年において継続した更なる計算力アップが必要である。
- ・低学年から系統立てて、なぜそう考えたのか答えに至るまでの過程や理由について説明する活動を授業の中に多く取り入れて、式や答えだけでなく理由をつけて説明（記述）できる力を身につける。
- ・数学的に考えたことを説明するための文章力（書く力）に課題がある。例題を正確に理解し、それを他の問題にも応用していく柔軟さが求められる。
- ・このような力を身につけるためには、各学年における横断的な学習を取り入れるなどの授業改善をより一層進め、学力向上を図っていく。

